

相談援助実習 自己評価票

実習生	実習生氏名			学籍番号	
	大学名	首都大学東京 人文・社会系 社会福祉学分野		学年	
実習施設	名称(施設種別)				
	実習指導者	役職	氏名		
	実習期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日(日間)			

〈実習期間中の自身の実習について、以下の評価尺度に基づき、回答すること。〉

*施設・機関の特性上、講義でしか実習できなかった事項に関しては、講義等での態度・理解で評価すること。
また実習中に触れることが困難であった場合には「E」と評価すること。

	4:十分に達成できた	3:助言によって達成できた	2:助言されてもあまり達成できなかった	1:達成できなかった	E:経験していない
(記入例)	4	3	2	1	E

1. 基本的コミュニケーションや円滑な人間関係の形成に関する事項

①対象(利用者、グループ、地域等)との関わりを学ぶ	4	3	2	1	E
---------------------------	---	---	---	---	---

2. 利用者理解とそのニーズの把握及び支援計画の作成に関する事項

①利用者の生活実態やニーズを幅広い視点から学ぶ	4	3	2	1	E
②対象(利用者、グループ、地域等)へのアセスメントの方法を学ぶ	4	3	2	1	E
③個別支援計画等、さまざまな計画の策定方法を学ぶ(プランニングまでを主として)	4	3	2	1	E

3. 利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成に関する事項

①利用者や関係者と関わる事ができる(ケースワーク的な視点で)	4	3	2	1	E
②利用者やその関係者の集団と関わる事ができる(グループワーク的な視点で)	4	3	2	1	E

4. 利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護及び支援(エンパワメントを含む)とその評価に関する事項

①対象(利用者、グループ、地域等)に関する支援プロセスを学ぶ	4	3	2	1	E
②本人・家族等との面接の進め方を学ぶ	4	3	2	1	E

5. 多職種連携やチームアプローチに関する事項

①職場における他職種、他職員の役割と業務を学ぶ	4	3	2	1	E
②職場におけるチームアプローチのあり方を学ぶ	4	3	2	1	E
③各職種内・間の会議の運営方法を学ぶ	4	3	2	1	E
④関連機関・施設の業務や連携状況を学ぶ	4	3	2	1	E

6. 社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解に関する事項

①利用者の人権尊重の具体的方法について学ぶ	4	3	2	1	E

②社会福祉専門職の価値・倫理を学ぶ	4	3	2	1	E

③指導職員から社会福祉士の業務内容を学ぶ	4	3	2	1	E

④業務に必要な文書様式の記入内容・方法等を学ぶ	4	3	2	1	E

7. 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際に関する事項

①実習先機関・施設の法的根拠・法律について学ぶ	4	3	2	1	E

②実習先機関・施設的意思決定過程を学ぶ	4	3	2	1	E

③実習先機関・施設の財政、運営方法等の組織構造を学ぶ	4	3	2	1	E

8. 実習先の地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解に関する事項

①実習先機関・施設のある地域の歴史や人口構造等の一般的状況を学ぶ	4	3	2	1	E

②実習先機関・施設のある地域の社会福祉の全体的状況を学ぶ	4	3	2	1	E

③実習先機関・施設のある地域のインフォーマルな社会資源について学ぶ	4	3	2	1	E

④実習期間中の行事等について学ぶ	4	3	2	1	E

⑤地域の組織化の方法等を学ぶ	4	3	2	1	E

9. 総合評価

4	3	2	1	E

10. 実習全体に関する総評を具体的に記入すること。